

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	工業課	事業No.	218
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
法令・例規等					
事業目的		対象	製造業等を支える人材		
		意図	技術力・開発力・生産管理能力を高め、成長性の高い産業分野（航空機分野等）の集積化と既存産業の体質強化、高度化・高付加価値化を目指す		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田産業技術大学事業は、感染症対策を講じて企業を対象とした技術、経営、特別（シンポジウム含む）28講座を開催しました。機能性食品の開発を促進するため新たに人材コーディネーターを配置して信州大学農学部と連携しフードスペシャリスト養成講座を支援しました。次世代人材を対象にものづくりの体験を行う場としてデジタルものづくり工房「ファブスタ★」（3Dプリンター等導入）をエス・バード内に整備しました。信州大学航空機システム共同研究講座は、企業版ふるさと納税による寄付を活用し学生への奨学金及び引越費用の支援を行うとともに、今後の講座運営及び学生支援をコンソーシアムで4年間の延長支援が決定されました。		企業展示説明会事業負担金					300			
			飯田産業技術大学事業負担金（中事業）					2,894			
			信州大学電気機器関連制御技術社会人スキルアップ講座事業負担金					3,000			
			フードスペシャリスト養成プログラム事業負担金					1,521			
			共創の場ものづくり工房事業負担金					14,980			
			信州大学航空機システム共同研究講座広域連合負担金					4,047			
			信大航空機システム共同研究講座コンソーシアム補助金					11,100			
			飯田精密機械工業会企業紹介冊子印刷費					10			
			その他の経費					0			
活動指標			指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	次世代育成を目的とした講座参加者数	人	300	253	300	264	300	200	300	0	
	信大「特別の過程」1年コース終了者数	人	8	11	8	4	8	4	8	3	
	飯田産業技術大学参加者数	人	1,000	1,007	1,000	913	1,000	971	1,000	953	
	信大航空機システム共同研究講座支援学生数	人		2	7	7	7	8	10	7	
	ものづくり工房「ファブスタ」利用者数	人							120	45	
	フードスペシャリスト養成プログラム受講者数	人							15	23	
2年度 決算 (千円)	予算額	42,538	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	37,852	(そ) ふるさと寄附金 11,600千円								
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 企業版ふるさと納税 11,100千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	22,700								
一般財源	15,152										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	16	35,044	30,437	次世代を担う産業人材育成事業費
2	1	7	1	5	10	18	2,894	2,894	飯田産業技術大学事業費
3	1	7	1	5	10	28	4,600	4,521	ものづくり高度人材育成事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		製造現場における技術・技能者及び管理者の研修による底上げや、人材不足を背景に省力化に伴うAI・IoT等の導入への支援強化が求められています。あわせて、機能性食品等の開発に向けた人材育成の強化が必要です。次世代を担う人材育成の拠点としてデジタルものづくり工房「ファブスタ★」の機器整備は完了しましたが、大人から次世代を担う人材が集い交流できるように講座の開催等、企業と連携し取り組んでいく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		飯田産業技術大学やデジタルものづくり工房「ファブスタ★」等による人材育成事業を強化・拡大するためには、地域内外の関連機関との連携と、引き続き人材育成コーディネーターの配置が必要です。							
次年度に向けての取り組み		次世代を担う人材の育成は、デジタルものづくり工房「ファブスタ★」の機能をフル活用し、信州大学や周辺の学校と連携し、講座等を開催します。企業対象の講座については、引き続き人材育成コーディネーターを配置して、地元企業のニーズを踏まえ体系立てた研修講座を開催します。							